



しおかぜ



よこはましりつうしおだしょうがっこう
横浜市立潮田小学校
2023年1月31日

うしおだしょうがっこう しゅうねん つ 潮田小学校150周年 「継ぐ」から「つなぐ」

こうちょう こいすみ ひろし
校長 小泉 博史

1月16日。体育館での全校朝会で「横浜市立潮田小学校140周年／145周年の壁画を継ぐ つなぐ150周年へ」と題して、横断幕（実物大）のお披露目会を行いました。皆さんもご存じのように、安全上の問題で学校の敷地に面した壁を取り壊す工事が行われています。西側の壁には140周年、145周年に在校生が描いた壁画がありました。この工事に伴いなくなってしまう。愛育会の皆様のおかげで、その壁画を横断幕にして残すことができました。お披露目会では、動画で、壁画作成にかかわった卒業生や先生の思いを聞きました。子どもたちは、卒業生の思いのこもった横断幕を見て、来年度150周年を迎えるにあたり何かを感じているように見えました。



潮田小学校150周年 「継ぐ」から「つなぐ」これは、地域、保護者、教員で組織する創立150周年実行委員会にて決定したテーマです。令和3年度から少しずつ会合を重ね、準備をしています。この言葉には、「様々な伝統を引き継ぎ、次世代につないでいく」という意味が込められています。

さあ、いよいよ、150周年の年になりました。これからは、今、潮田小にいる子どもたちの思いや願いを大切に、15000人以上いる卒業生の思いを「継ぎ」そして「つなぐ」取組を行っていきます。

では、潮田小学校の子どもたちが引き継いできたものとは何でしょうか。いつも当たり前だと思って行動していることはなかなか気づきにくいものです。子どもたちには潮田小学校が大切にしてきたこと、よいところについてあらためて考え、そして気づき、これからは未永くつないでいけるような1年間にしてほしいと考えています。そして卒業しても、潮田小学校で学んで身に付けた心（こころ）をいつまでもいつまでも、大切にもち続けてほしいと思います。

2年前、私がこの学校に来た時、すばらしいと思ったところは、

- 日本の学校だけれども、外国につながる多くの子どもたちが、安心して、だれとでも仲良く過ごしていること。
- 日常の挨拶はもちろん登校班でそろって挨拶すること。
- 潮田座り、話の聞き方、廊下の歩き方がきちんとできること
- 給食や掃除の決まり等、潮田スタンダードをきちんと守ろうとすること。
- 学校に芝生の敷地や潮新山という環境があること。
- 自治会、町内会の方々、共学舎、保護者（愛育会）という、強力な支援者がいること。

など、たくさんありました。

引き「継ぐ」ことはもちろん、そのよさを実感し、さらに発展していこうという強い思いがなければ「つなぐ」ことはできません。

今年は、子どもたち、地域の皆さん、保護者、教職員と、共に「継ぐ」から「つなぐ」ことを考え、活動する1年間にしていきたいと思っています。ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。